

第23期第1回常任理事会議事録

日時 昭和59年9月3日(月) 15:00~18:00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山元, 田宮, 土屋, 杉村, 花房, 松野, 竹内,
浅井, 山岸, 能登, 河村, 春日, 松本

議事

1. 第22, 23期新旧理事, 監事合同会議議事録の確認
一部文章を追加のうえ確認された。
2. 第23期第1回理事会議事録の確認
字句を一部修正のうえ確認された。
3. 各委員会報告
 - [庶務] 資料に基づいて報告があった。
 - [会計] 資料に基づき7月分の収支, 前3年度平均との比較などについて報告があった。また, 事務局から現在の残高および請求の状況について報告があった。
 - [天気] 9月号目次, 10月号内容予定について報告があった。
 - [気象集誌] 5号の編集委員会を8月末に行った。5号までのページ累計は約800ページの見込みとの報告があった。
 - [講演企画] 資料に基づき秋季大会のプログラム概要の報告があり, 本年度学会賞受賞者山田哲二会員の記念講演を行うことが報告された。
 - [教育と普及] 昭和59年7月31日から4日間開講された夏季大学についての報告があった。
 - [国際交流] 中国気象学会60周年記念式典参列を含め, 10月6日出発し10月19日帰国する日程で, 山元理事長ほか6名の代表団を送る準備を進めている。本年度の国際交流基金(予算の25万円)は来年度訪日する中間代表団の接待費にまわしたいとの報告があった。
4. 評議員の選出について
資料に基づいて協議を行い, 次回常任理事会で再度協議することとなった。
5. 60年度予算案の骨子について
資料に基づいて説明があり, 次回に協議することとなった。また, 予算の増額希望があれば次回までに提案されたい。
6. 会員数の動向について

資料に基づき, 会員数はほぼ横ばいの状況であるが学生会員の減少が目立っているとの報告があった。さらに会員増に努力することで意見の一致をみた。

7. 60年度春季大会の日程について

講演企画担当理事から60年度春季大会(東京管区気象台担当)の日程について, 東京管区と協議の結果60年5月22日(水)~24日(金)の3日間としたい旨の説明があり承認された。

また, 講演数が多く時間がとれないので申し込み方法を一部変更し「希望分類の同一中項目には2件同時に申し込めないものとする」ことが提案され承認された。

8. 学術会議会員選出のための手続きについて

資料に基づいて登録する研連, 会員候補者, 推薦人の選出方法について議論した。その結果, 全理事の意見を聞いたうえ, 次回に審議することとした。

9. 学術用語集について

文部省から学術審議会学術用語分科会気象学用語専門委員候補者推薦の依頼があり, 岸保勘三郎会員ほか8名を推薦することとした(専門委員は文部省が決定する)。

10. 国際研究集会の後援依頼について

学術振興会後援の「極東域のモンスーンに関する国際研究集会(昭和60年11月頃予定)」の後援依頼が組織委員会からあり, 後援することが承認された。

11. 奨励金について

昭和59年度奨励金受領候補者の応募は8件あった。9月1日受領候補者選考委員会を開き, 平隆介会員(福岡管区気象台), 加藤敏彦会員(東京管区気象台, 三宅島測候所), 柴山元彦会員(大阪教育大学付属高校)の3件選定したとの報告があった。受領者は選定規定に基づき全理事の投票により決定する。

12. 各委員会委員の承認について

各担当理事から提出された委員会委員が一括承認された(ただし, 教育と普及委員会委員はほぼ決定しているが, 最終的に固まっていないので今後提出することです承)。

13. 会員の新規加入の承認について

個人会員 福島毅ほか23名および国内団体会員「陸上自衛隊航空学校」, 外国団体会員「Laboratoire Associe de Meteorologie Physique」の新規加入をそれぞれ承認。